

平成29年度【受託実習】ほか開講実績

■概要

学生の単位に関わる実習・セミナー等として、菅平高原実験所では17実習(学外:10、学内:7)、八ヶ岳演習林では9実習(学外:3、学内:6)、井川演習林では3実習(学外:2、学内:1)、筑波実験林では12実習(学外:0、学内:12)を受け入れた。その他、高大連携や地域貢献と関連した教育活動を受け入れた。

■受託実習一覧

2-1-1 他大学実習のみ記入。筑波大との合同実習も含む。

実習名(大学学部)	概要
1 多様性生態学実習 (東京大学)	東京大学大学院生を対象にした菌類観察の実習。6月8日-11日に菅平高原実験所で実施。
2 野外生態学学習I (東邦大学理学部生物学科)	東邦大学理学部生物学科の野外生態学実習 I での利用。生物多様性は環境や種間相互作用に対する適応進化や遺伝的浮動等による進化現象によって生じると考えられている。そのような生物多様性を野外でのサンプリング調査や動物園などの飼育動物の観察を通して学習し、動物生態学、植物生態学、行動生態学、進化生態学など、生態学全般の知識を深めることを本実習の主目的とする。7月3日-7日に菅平高原実験所で実施。
3 生活環境学演習1 (大阪産業大学)	生活環境学演習1(本学カリキュラム)の一環として、大阪とは異なる気象/自然環境にある菅平の草原、森林、高山植生を実習することが大きな目的である。7月7日-8日に菅平高原実験所で実施。
4 野外基礎学習 (東邦大学理学部生物学科)	本実習は、野外で生物に接して観察や調査を行い、その形態、分類、生態、分布といった生物学的特性を種あるいは個体群レベルで実地に認識することによって生物多様性を実感するとともに、それを研究するための方法やコンピュータ活用方法の基礎を身につけることを目的とする。東邦大学理学部生物学科1年生対象の「野外基礎学習」で、昆虫分類学に関する実習を行う。8月7日-10日に菅平高原実験所で実施。
5 野外生物学実習野 (神戸大学発達科学部)	野外での植物・昆虫の調査方法を学び、野外における基本的な行動やデータ取得方法を学ぶ。8月19日-21日に菅平高原実験所で実施。
6 自然環境調査法 (福島大学共生システム理工学類)	福島大学共生システム理工学類環境システムマネジメント専攻の専門科目「自然環境調査法」を実施するため。本科目は植物観察および昆虫の採集、標本作製、同定に関する技術を実地で学び、生物調査の基本技術を身につけることを目的としているものである。8月21日-25日に菅平高原実験所で実施。
7 生態学実験2 (千葉大学理学部)	フィールドワーク、および、そこで得られたデータ解析により、生態学研究の手順を学ぶ。具体的には環境勾配に沿った生物多様性の傾度を実測し、それを統計的に検討する方法について学ぶ。9月2日-4日に菅平高原実験所で実施。
8 「日本の土を見て、さわって、考える」 (京都大学農学部・工学部)	京都大学全学共通科目・少数セミナー「日本の土を見て、さわって、考える」における実習。9月7日に菅平高原実験所で実施。
9 Field Exercise in Environmental Ecology (首都大学)	Study the methodology and techniques required for researching and analyzing natural environment through fieldwork planning, discussions on survey contents, literature review, collection of relevant materials, and data analysis. 10月26日-27日に菅平高原実験所で実施。

10	38回菅平動物学セミナー開催 (筑波大学・福島大学・愛媛大学 他)	38回菅平動物学セミナーの開催。12月2日-3日に菅平高原実験所で実施。
11	植生管理学研究室 フィールドセミナー (東京農工大学農学部 研究院)	野外調査により個々の植物群落にみられる種類構成、群落の地理的な分布、立地条件などをしらべ、その生態学、植生学的な性質を明らかにする。7月7日-8日に八ヶ岳演習林で実施。
12	樹木医総合演習 (信州大学農学部)	樹木の衰退度の調査方法を学んだ上で、衰退木の実地検分、保存樹の実地検分により、樹木医に必要な技術と知識を習得。診断方法の概説、外観による樹木診断など。8月18日に八ヶ岳演習林で実施。
13	植物学野外実習 (東京学芸大学教育学部)	日本の山地における代表的な植物の採集と標本作成。分類体系の理解。また、植物形態や生態の観察と、それに基づいたプレゼンテーションを行う。8月22日-25日に八ヶ岳演習林で実施。
14	砂防工学演習 (静岡大学)	森林山地、溪流・河川を対象とした地形、地質、土質、水文等の調査手法を学ぶとともに、基礎方程式の導出や数値解析に関する演習を行う。8月22日-23日に井川演習林で実施。
15	第4回森林フィールド講座・南アルプス編(東海大学、奈良女子大学、石巻専修大学、人間環境大学、お茶の水女子大学、近畿大学、山形大学、筑波大学、他)	南アルプスの麓にある静岡市葵区井川地区は、静岡市の最奥部で、険しい山々が連なる山奥です。ここは我々のスケールで感じられる範囲と、気の長い時間で動いているのです。今回の実習では、実は山が動いているということ、それが織りなす自然の多様性という山岳科学の視点と、山が動くことで生じてしまう山岳災害を防ぐための知識を養う視点をもって、実際に自分の目で見て感じてみましょう。9月5日-8日に井川演習林で実施。概要： http://forest.fsc.hokudai.ac.jp/kyoten/field17/about.html

■その他の教育活動

利用者	概要
1 埼玉自然学習センター	社会教育活動の一環とした、好雪性粘菌の採取と観察を目的としている。5月15日-16日に菅平高原実験所で実施。
2 更植地区理科実習教員研究会	更植地区理科実習教員研究会では高校で実施する実験・実習を向上させるための学習会などを行っています。地域の環境や植物について知識を深め、今後の教育活動に生かしたいと考えています。6月5日に菅平高原実験所で実施。
3 日本菌学会関東支部会・日本変形菌研究会	日本菌学会関東支部会・日本変形菌研究会合同夏季ワークショップ合宿研修会。6月23日-25日に菅平高原実験所で実施。
4 筑波大学	GFEST 夏の实習開催。8月1日-4日に菅平高原実験所で実施。
5 松本秀峰中等教育学校	GFEST SSコース実習。8月2日-4日に菅平高原実験所で実施。
6 文教大学	英語論文の輪読を通して、論文の書き方、まとめ方を学び、卒業研究の対象生物についての基礎的知識を獲得するためのセミナー。滞在期間の多くは室内で輪読。お天気状況を見ながら、出川先生による野外観察会も行う予定。8月7日-9日に菅平高原実験所で実施。
7 上田高校	スーパーグローバルハイスクール 上田高等学校2学年フィールドワーク。9月12日に菅平高原実験所で実施。
8 日本ペドロジー学会	日本ペドロジー学会の主催する土壌調査の実習(ペドロジスト・トレーニングコース)開催。10月6日-9日に八ヶ岳で実施。
9 大田区立馬込中学校・教員、生徒	林業体験教室(玉切体験、玉切重量当て、木材プレート工作等)。6月20日に八ヶ岳で実施。

10	日本菌学会	日本菌学会関東支部第31回菌類観察会。10月14日に八ヶ岳で実施。
11	南牧村立小学校・教員、4年生	体験授業(牛乳パックによるアオナシの苗作り。10月26日に八ヶ岳で実施。
12	筑波大学/筑波大学教員免許状更新講習「里山探検隊」	教育基本法には教育の目標の1つとして、「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと」と記載されています。これを達成するためには、教員が身近な自然環境や生き物(食物を育てる環境や食物としての生き物も含む)についてよく理解している必要があります。本講習では、植物・昆虫・菌類の専門家と1日の行動をともにすることにより、身近な生き物の見方を学びます。7月23日に筑波実験林で実施。
13	筑波大学教員有志/森林資源系サマースクール Forests of Japan 2017	東京大学大学院農学生命科学研究科との合同開催。国立台湾大学の森林環境及び資源学系の学生、大学院生、引率教員が参加。筑波キャンパスでの研究室見学と懇親会、宇都宮大学日光演習林(栃木県)におけるニホンジカの樹皮剥ぎと日光杉並木の学習、筑波実験植物園において生物多様性の学習を行う。9月7日に筑波実験林で実施。